

「東南アジアからみる昆虫食事情：サステイナブルな食糧の今後」

国際機関 日本アセアンセンター

この度、国際機関日本アセアンセンターは、飼料効率の高さや温室効果ガス排出の少なさが注目され、今後さらに市場が拡大すると思われる昆虫食についての理解を深めることを目的とした「東南アジアから見る昆虫食事情：サステイナブルな食糧の今後」をオンラインにて開催いたします。

世界の人口は、富裕国を中心に高齢化しつつ人口増加も鈍化の傾向を見せておりますが、国連の報告書では、2050年には人口が現在の77億人から97億人に達すると予測されております。国際連合食糧農業機関（FAO）では、人口増加により2050年の農業生産（食糧・飼料・バイオ燃料等）の生産量を2012年の水準より50%以上増加させる必要があると発表しております。また、同機関は地球上の温室効果ガス排出量の18%は畜産によるものと発表しており、発展途上国のさらなる経済発展により、今後もその数値は増加していくことが予想されます。また一方で、後発開発途上国での栄養不良は長年続いており、グローバルな未来予測だけでは、現在進行形のローカルな栄養問題、フードインセキュリティを見逃す危険もあります。

そこで今回は、NPO 法人食用昆虫科学研究会理事長佐伯真二郎氏をお招きし、ラオスでの昆虫養殖による栄養改善活動を中心に、東南アジアからみる昆虫食事情について、昆虫食を取り巻く現状やビジネス、サステイナブルな食糧としての今後の展望について、お話しいただきます。

皆様の奮ってのご参加をお待ち申し上げます。

日時	2021年1月13日（水）15時30分-17時00分		
会場	オンライン		
講演内容 講師	「東南アジアから見る昆虫食事情：サステイナブルな食糧の今後」 NPO 法人 食用昆虫科学研究会理事長 佐伯 真二郎 氏 Twitter フォロワー1.2万人 2020年10月発刊『おいしい昆虫記』著者 ラオス農村部の栄養と所得を改善するため、昆虫養殖普及の技術開発を担う。2015年神戸大学農学研究科博士後期課程単位取得退学。2014年よりNPO 法人食用昆虫科学研究会理事長。		
進行	国際機関日本アセアンセンター 貿易投資クラスター クラスター長 石田 靖		
主催	国際機関日本アセアンセンター		
定員	100名（予定）	対象	昆虫食及びサステイナブルな食糧生産に関心のある方
言語	日本語	参加費	無料
お申込み	下記 WEB ページよりお申し込みください。 https://data.asean.or.jp/form/seminar/app_seminar.aspx?id=37404891		
連絡先	国際機関日本アセアンセンター貿易投資クラスター TEL: 03-5402-8006/Fax: 03-5402-8007 info_ti@asean.or.jp		

※お申込みいただいた方には1月12日（火）までに当日オンラインにて配信するURL等のご案内をさせていただきます。
※ご記入いただいた個人情報は、本セミナー講演者への提示及び主催団体からの各種ご案内をお送りする目的のみに使用します。※お申込者情報は公開いたしません。